

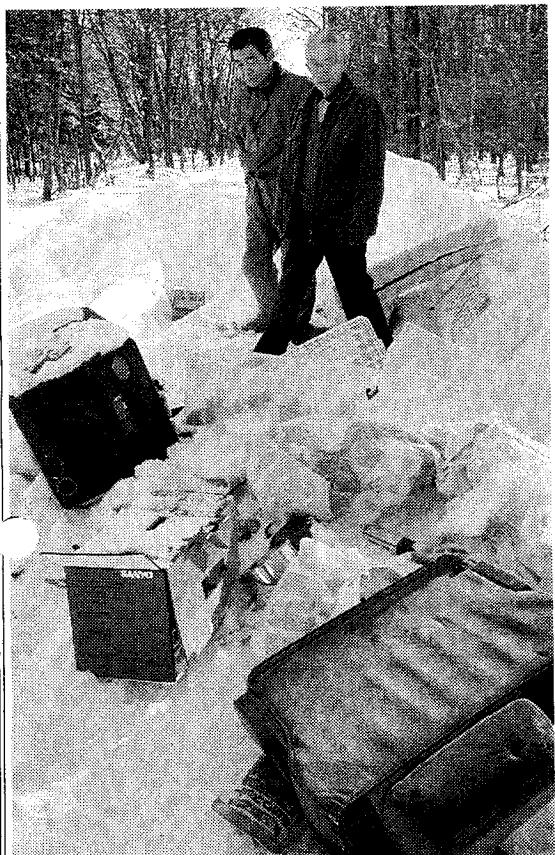
都市近郊の平地林では世界有数の規模を誇る道立野幌森林公園（二千五十一㌶）。札幌、江別、北広島の三市にまたがるそこの公園を、市民の側から守るグループがある。江別市民有志でつくる「フォーラム野幌の森」。森の異変に耳を傾け、世間に大きく問題を提起する「森の番人」として、幅広く活動を展開している。

(札幌圈部 傑積田雅史)

白銀の世界に似つかわしくない光景が広がっていた。今月十五日、野幌森林公園。洗濯機に車のシート、子供のおもちゃ。「森の中心部にこんなものがあるなんて異常ですよ」。フォーラム野幌の森代表、五十嵐敏文さん(四九)は、散乱する大量のごみに嘆いた。

同公園は五百種を超す植物が自生し、天然記念物のクマゲラも生息する自然の宝庫。

声上げる“森の番人”



不法投棄されたごみに見るフォーラム 野幌の森のメンバー

フオーラム 野幌の森

不法投棄根絕へ行動

のか。不法投棄だけではない。
森が分断され 小動物の移動
や植生を破壊してしまいかね
ない」と五十嵐さんは指摘す
る。二〇〇一年から中央道路

みんなで力を合わせよう。地元の自然保護グループが集まって会を発足。フォーラムを相次いで開催。国に要望を続け、市民に問題を提起した

〇〇〇〇年九月から国が始めた
公園内の遊歩道整備事業。遊
歩道に砂利を敷く工事だった
が、会員の学生から「希少植物
が重機で踏みつけられるな

最小限の伐採を」と求める五十嵐さんは「危険は分からぬが、自然はリスクがある。木が腐って虫がわき、キツチ類の餌場にもなる。いろいろ

なぜ森の奥深くにまでごみが捨てられるのか。同公園は中心部を延長三・五キロの江別市道「中央道路」が東西に貫いている。札幌と江別を抜ける近道として車が通行しきる森の奥へ簡単に入り込めるためだ。

会の設立は〇〇年四月。つかけは前年、公園内に国農道整備計画が浮上したことだつた。「自然が壊される

きのとどきに、会社員や大学生、教師らさまざまざま。何か問題があれば、みんなで話し合い、事態打開へと動きだす。

今後も課題は山積みだ。石狩森林管理署が現在、公園内の倒れる危険性のある老木の伐採を進めているが、「必需要

ところが、ここ数年、ごみの不法投棄が目立ち始めた。一昨年施行の家電リサイクル法や隣接する札幌市の大型ごみ収集有料化で、費用負担増を嫌つての投棄が増えたとみられて いる。

問題に取り組み、江別市や道
国に対し車の通行を禁止す
よう要望。昨年四月には市
道、国に呼びかけ「野幌の
・中央道路検討会」の開催
こぎつけた。

その成果もあって〇一年十月、月、國が農道計画の中止を表明。「公共事業削減など時代の流れも後押ししたと思う。うれしかった。声を上げてよかつたなどくつく思う」。事務局の田村稔さん(六八)は振る。こういふことが主力で、決に森、東、る。

ど植生に重大な影響が出ていた。と心配の声が上がった。国に抗議した結果、工事は中止となつた。

大麻の田村さん宅。会合は年6回程度だが、必要に応じて随时開いている。会費1口千円から。問い合わせは田村さんへ。
モバ事務局は江別市